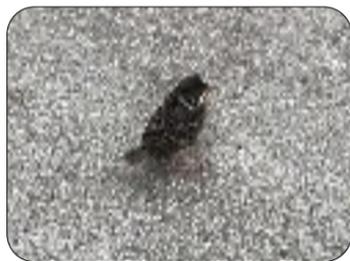


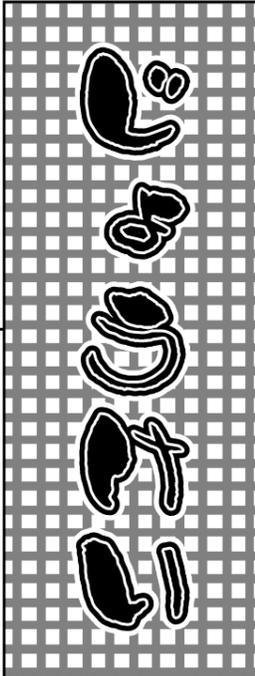
境内さんぽ



すずめのヒナが迷い込んできました。

きょうきょうによきょう 経教如鏡

～経教はこれを喩うるに鏡の如し、しばしば読み
しばしば尋ねれば、智慧開発す(善導)～



「ただ、よく聞きて」

日頃よりお世話になつております。新型コロナウイルスによる感染拡大が長く続いていまして、困難な状況を強いられる中、皆様様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、蓮如上人は、室町時代に本願寺の八代住職であつた方です。その八十五年のご生涯の内、晩年の日常生活でのお姿、弟子達へ真宗の教えを語つた時の言葉などが記された書物に*「蓮如上人御一代記聞書」があります。この書物は、上人が*御同行へ書かれた手紙を(八十通ほど)まとめられた『御文』と共に、『和讃』のお勤めの後に、拝読する聖教として

て長く真宗門徒に親しまれてきました。その「聞書」の中に「一句一言を聴聞する」とも、ただ、得手に法をきくなり。ただ、よく聞き、心中のとおり、同行にあい談合すべきことなり」とあります。内容をたずねますと、「仏教、真宗の教えを聞いていると言つても得手(自分にとって都合のよい様に)聞くという事が人間にはどうしてもある。だからこそ、その言葉を、自らがどのように感じ、どのように受け止めたのか、共に同じ道を歩む方と感想や意見を語り合う事が大切です。」というほどの事でしょう。

お盆のご案内

本堂にて合同法要をおこないます。

- 8月13日(金)～8月15日(日)
 - 全日程10時より本堂にて。
 - 勤行/法話(当寺住職)
- どなた様もお参りください。

＜お盆のお参りについて＞
新盆の方は、住職(携帯電話)までご連絡下さい。ご自宅でのお参りを希望される方は、お早めにご連絡をいただけましたら幸いです。

＜合同法要におけるお知らせ＞
合同法要は、新盆の方を含み、ご門徒の皆様お参り下さい。

本堂内陣にて法名紙(本号に同封しています。)をお預かりし、合同供養いたします。ご希望の方は、法名紙に故人のお名前・法名をお書きいただき、法要当日にご持参ください。なお、法名紙はお盆あけにお寺でお焚き上げします。

ものなる事を蓮如上人の言葉は教えて下さっているように感じています。 住職

発行日 二〇二二年七月一日
編集者 下博之
発行所 真宗大谷派浄慶寺 大塚 展彦
電話 〇九二一七五三一六二五七
携帯 〇九〇一三三二八一三二六八
FAX 〇九二一五一一〇一〇二五三



http://www.jyokeiji.jp

ご法事について

年忌法事をはじめ祥月命日(毎年のご命日)や毎月のお参りも承ります。ご希望の場合はお知らせください。また、年忌法要は該当する年にお勤めします。ご法事が、ご命日の日から前後しても構いません。

お寺での法事の際に持参する物
(法名軸,過去帳,位牌)のいずれか
写真・お供物・念珠
お持ちの方は肩衣。

※その他ご不明な点はご連絡ください。

2021年(令和3年)年回表

年回	年回にあたる没年	
1周忌	2020年	令和2年
3回忌	2019年	令和元年/平成31年
7回忌	2015年	平成27年
13回忌	2009年	平成21年
17回忌	2005年	平成17年
23回忌	1999年	平成11年
25回忌	1997年	平成9年
33回忌	1989年	平成元年/昭和64年
50回忌	1972年	昭和47年

編集後記
この号より「じょうけい」の編集者が交代となりました。二〇一七年より四年間にわたり編集をしていただきました塩川大い様には、寺報の基盤を作っていたいただき内容も様々工夫していただき、誠に有り難うございました。 住職

年間行事予定

法要	日時		法話
盂蘭盆会法要	8/13(金) ～15(日)	10時00分より	当寺住職
秋彼岸会法要	9/23 (祝・木)	13時30分より	当寺住職
報恩講法要	11/13(土) ～14(日)	13時30分より	当寺住職
宗祖親鸞聖人 ご命日の つどい	毎月28日	13時30分より	当寺住職

ご命日のつどい ご案内

毎月28日 13時30分より本堂にて「ご命日の集い」をしています。『正信偈』のお勤めの後、写経や仏教のお話を聞きます。のんびり行っていますので、ぜひ！お気軽にお越しください★通常、午後3時半頃に終了しています。途中、出入り自由です。

お墓参りの方へ

カラスや犬などが墓地を荒らします。お酒やジュースお饅頭などの、お供え物は、ご参拝後、お持ち帰りください。

納骨堂の方へ

お供え物の果物やお饅頭などの生ものは、早めにお引き致しますのでご了承ください。

クイズで学ぶ仏教語(2面)答え⇒②かんのう
＜堪能＞は、仏教語で「かんのう」と読みます。本来＜堪＞には「たん」という読みはなく、＜堪能＞を「たんのう」と読むのは慣用読みです。
＜足んぬ＞(足りぬの音便形)の転じた「たんのう」に、漢字の＜堪能＞を当てたことから、「満足」の意味で使われるようになりました。

門徒さん投稿欄

ご先祖様

1⇒2⇒4⇒8⇒16⇒32⇒64⇒128⇒256⇒512⇒1,024・・・これって、勘のいい方ならもうお気づきですね！それぞれの数字に人を付けると！そうです、自分から見て、親の数ですね！

浄慶寺の本堂には、150年ぶりに本堂を建て替えた時にお力添えいただいた門徒の方のお名前が書かれています。寺報じょうけいを読まれている皆さんご自身も含めて、祖父祖母・父母・兄弟など身近なお名前もありませんでしょうか。

浄慶寺を訪れると、ご本尊にお参り。そしてご先祖様が眠っている納骨堂に伺い、ご先祖様にご挨拶。いつものルーティーンをしているときに以下のことを思いました。

ご先祖様って、いったい何人いるのだろうか・・・疑問が沸々と湧き上がってきました。もちろん答えはもの凄いな数！もしくは無限大！だということは漫然とわかっています。それを、わざわざ書き留めたのが、初めに書いた数字なんです。自分から見て5代前のご先祖さま（あくまで自分がこの世に生を受けるための夫婦の人数）は32人。10代前は1,024

人。ここまでは、ほー多いね！ぐらいじゃないでしょうか。それぞれの世代の累計は、皆さんご自身で足し算してくださいね。それが本当のご先祖様の数になります。

15代前は、32,768人。20代前は1,048,576人（104万8576人）、25代前は33,554,432人（3355万4432人）、30代前は1,073,741,824人（10億7374万1824人）。

大雑把に、人生60年と考えると、10代前で600年前。20代前で1,200年前。30代前で1,800年前。まだ仏陀に出会えませんか（笑）

こうやってみると、だれ一人かけても、私はこの世に生まれることもありませんでした。偶然なのでしょうか？必然なのでしょうか？どのような言葉が、正しいのでしょうか？

ひとつだけ言えることは、数多くのご先祖様に“ありがとうございます。皆さんのお陰で、いま生きています。皆さんからいただいた体を大切に生きていきます！”と。

過去帳だけでなく、過去帳に載っていない数多くのご先祖様に思いを寄せてみる場所としての浄慶寺だと感じました。

藏ノ下 博之

お寺での葬儀について

門徒さん体験談

最後のお別れは本堂で。

これまでにお父・母・実母の葬儀は、すべて浄慶寺の本堂で行いました。まだ存命ですが実父の葬儀も、その願いしようと思っております。

そして、ほとんどが葬儀会社の営んでおられる葬祭場で行われるものでした。きれいな祭壇と重厚な音楽が流れ、時間が来れば司会者のアナウンスで葬儀が始まります。

どの葬儀に参列しても、司会者の言われるとおりに葬儀が進みます。まさにセレモニー（儀式・式典）ですね。これまでに、いろいろな宗派や宗教の葬儀に参加しました。キリスト教徒の方は、ご自身と関係のある教会で行われる方が多かったです。ように記憶しています。

麗日キリスト教会の方で、母の葬儀では、本堂の大塚展彦住職と大塚坊守にお経をあげていただきました。そして、お世話になった門徒が、人生の最後を本堂から送り出してもらうことが、人生の良い終わり方なのかなと思います。母の葬儀では、本堂の大塚展彦住職と大塚坊守にお経をあげていただきました。そして、お世話になった門徒が、人生の最後を本堂から送り出してもらうことが、人生の良い終わり方なのかなと思います。母の葬儀では、本堂の大塚展彦住職と大塚坊守にお経をあげていただきました。

浄土真宗 KeyworQ 「門徒」とは、「浄土門の徒輩（ともがら）」という意味で、共に念仏の教えに生きる人々のことを言います。本願寺第八代蓮如上人が、『御文』の中で門徒という言葉をよくもちいられたことから、浄土真宗を抛りごころとする者の呼称として定着しました。現在では、浄土真宗の教えをいた

多くの人々を指す言葉として、広く一般的に使われています。門徒と似た意味で用いられる「檀家」は、もともと古代インドの言葉「ダーナ（布施）」に由来するもので、布施をする人・家を表します。江戸時代、「寺請制度」（いわゆる檀家制度）によって、人々は特定の寺院に所属するよう義務付けられました。寺院は戸籍台帳のようなものを作り、寺に所属する家（檀家）であることを証明しました。明治政府によって制度は廃止されましたが、現在でも檀家という呼び名が用いられています。

親鸞聖人も門徒？ 門徒と聞くと、在家の真宗信徒を指して使われることも多いかもしれませんが、仏門に入った仏弟子をみな門徒と呼びます。親鸞聖人も著作のなかで門徒という言葉を用いられています。主著である『教行信証』きょうぎょうしんしゅうのなかでは、「真宗（しんしゅう）興隆（こうりゅう）の大祖（たいそ）源空法師（げんくうぼうし）、ならびに門徒数輩（すはい）」というように、自分自身も門徒とされています。

出典『月刊同朋』六月号 四六頁

本堂でのご葬儀手順

お寺本堂での通夜・葬儀を希望する場合は以下の手順です。

①住職にご連絡をお願いします。（住職携帯電話：090-2318-3268）
②下記いずれかの葬儀社に浄慶寺の門徒である事と、本堂にて葬儀を希望であることをお伝えください。

◇みんせい葬祭／福岡市博多区大博町（担当：竹内）
092-271-7422（24時間受付）または090-1342-0006（24時間受付）
◇お葬式のあおやぎ／福岡市早良区飯倉（担当：龍相（りゅうそう））
092-865-4400（24時間受付）

※本堂でのお通夜の時間は午後10時までとさせていただきます。
※お寺での宿泊は出来ませんのでご了承ください。
※お通夜のみ自宅または葬儀斎場にて執行し、ご葬儀は本堂にて執行することも可能です。

クイズで学ぶ仏教語
Q. 十分満足することを「堪能（たんのう）」といいますが、仏教語としての読み方はどれでしょう？
①あんのう ②かんのう ③さんのう（答えは4面）

仏教ツウ！ポイント
仏教語で「堪能」は、漢字のとおり「堪える能力」を意味します。日常語の「堪能」には、「語学が堪能な人」のように、「学芸などに習熟し、すぐれている」という意味もありますが、これは、学芸に習熟するためには堪える力が必要なことから、「堪える能力」によって得られた結果」もまた、「堪能」というようになったためです。それらが混同されるようになり、今では「堪能」が複数の意味をもつようになりました。

出典『月刊同朋』6月号 47頁・56頁

川柳 山口由利子
川柳短歌俳句郷土史イラスト・写真などのお寄せください。

人間を学ぶ宇宙の片隅で
戦へと民を煽った愚に学ぶ
地域発若い視点が開ける窓
疑わず父母が揃っている暮し